



## 2024年度実施報告書

〈はじめに〉

一般社団法人宗像医師会は、医道の高揚、医学及び医術の発達並びに公衆衛生の向上を図り、もって社会福祉を増進することを目的として、明治13年（法人成立は昭和22年12月）に設立した宗像市及び福津市において就業又は住居を有する医師の職能的学術団体です。地域医療・福祉の向上に寄与するために行政（宗像市・福津市・福岡県）と連携して様々な地域医療活動を行っています。保育園・幼稚園の園医等学校保健事業や乳幼児健診・予防接種等母子保健事業を地域医療活動の一つとして行っていますが、主な活動は、子育てセミナー・講演会の開催、出産前小児保健指導（ペリネイタルビジット）等があります。

2020年、公益財団法人JK Aの補助事業に採択され、学校保健事業及び母子保健事業の一環として、世界で最も研究結果が蓄積され効果に信頼性がある子育てプログラム「トリプルP」を用いた子育て支援事業を行うことといたしました。

具体的には、宗像市・福津市の保育園、幼稚園の先生方に子育てプログラム「トリプルP」ファシリテーター（認定指導者）となっていただき、最終的には各園でファシリテーターによる保護者向け子育て講座を開催出来るような状況を整え、家庭と園の子育て環境の向上に寄与していく、というものです。

### 1. トリプルP（Positive Parenting Program 前向き子育てプログラム）とは

子どもの行動・感情・発達の問題の予防・改善を目的とした子育て・家庭支援プログラムです。子どもの発達や行動について、日常の家庭生活で使える具体的な技術が、前向きな子育ての実践に役立ち、親の自信につながります。30年以上の研究に基づき、国際的に高い評価を得ているプログラムです。豪・米・英・独など世界25ヶ国で使用されており、2006年より日本でも展開が始まっています。

### 2. これまでの取り組み

#### 1) 2020年度（事業初年度）

グループトリプルPファシリテーター養成講座（12歳までのお子さんをお持ちの保護者を対象としたグループワークを実施するファシリテーター（認定指導者）オンライン養成講座。以下「グループトリプルPファシリテーター養成講座」という。）を宗像市・福津市の保育園、幼稚園の先生方9名が受講し、認定試験に合格しました。

#### 2) 2021年度

- ・トリプルPセミナー（オンラインセミナー）の開催  
宗像市・福津市の保育園、幼稚園に先生方及び保護者が15名受講しました。
- ・グループトリプルPファシリテーター養成講座（オンライン）

宗像市・福津市の保育園、幼稚園の先生方が7名受講し、認定試験に合格しました。

### 3) 2022年度

- ・第7回トリプルPジャパン研究会 佐賀大会  
宗像地区から保育園の先生が2名、オンラインにて参加しました。
- ・グループトリプルPファシリテーター養成講座（オンライン）  
福津市保育園の先生方が1名受講し、認定試験に合格しました。
- ・レベル2特定（セミナー）トリプルPファシリテーター養成講座  
2020年に認定ファシリテーターとなった福津市保育園の先生が1名受講し、認定試験に合格しました。
- ・トリプルPグループワーク開催  
オンラインにて11月～12月に全7回開催し、幼稚園の保護者2名が参加しました。

### 4) 2023年度

- ・グループトリプルPファシリテーター養成講座（オンライン）  
宗像市・福津市の保育園の先生が4名受講し、認定試験に合格しました。
- ・トリプルPセミナーの開催  
事業開始して初めて対面でのセミナーを開催し、受講者は15名でした。

## 3. 2024年実施事業

### 1) 子育て応援シンポジウムの開催

- ・日 時：2024年5月26日(日)10:00～12:45
- ・場 所：宗像地域医療センター3階「講堂」
- ・内 容：主として子育て中の市民を対象に、宗像市・福津市の子育て支援の取組み（子ども家庭センター）の紹介、大学教授・講師、幼稚園園長、保育士等5人の子育ての専門家による子育てに関わる講演を行いました。講演後に、パネルディスカッション、子育て個別相談会を行いました。  
\*講演内容詳細は「子育て応援シンポジウム」参照
- ・参加者：110人 託児子ども18人 個別相談者9人
- ・結 果：アンケート結果（アンケート回収数85、回収率77%）より、「とても参考になった」「参考になった」をあわせると91%と満足度が高い結果となりました。
- ・評 価：初めての市民を対象としたシンポジウムの開催、果たしてどのくらいの参加者が集まるか心配していましたが、定員100人を超える参加者に集まってくれました。参加者からの感想についても「全て良かった」「全ての先生のお話の中に具体的な説明がありわかりやすかった」「子育て技術をもっと学びたい」「今後もこのような講演をして欲しい」といった声を多数いただきました。

## 2) トリプルPセミナーの開催

- ・日 時：2024年9月1日(日)10:00~12:30
- ・場 所：宗像地域医療センター3階「講堂」
- ・内 容：

### セミナー①「前向き子育ての力」

講師：藤田 一郎先生（福岡女学院大学子ども発達学科教授）

### セミナー②「自信と能力のある子どもを育てる」

講師：江上 千代美先生（福岡県立大学教授）

2021年、2023年のセミナーは主として保育園・幼稚園の先生を対象として開催しましたが、今回は、主として保護者を対象として開催しました。グループワークでは7日間の受講で前向き子育てプログラムトリプルPの子育て技術を学びますが、セミナーではトリプルPのエッセンスを凝縮し、セミナー①では子どもとの良い関係をつくり、発達を促して好ましい行動を増やす具体的な子育て技術を紹介し、セミナー②では子どもが自信を持ち、学校などでうまくやっていくための6つの核となる要素を紹介しました。

- ・参加者：34人
- ・結 果：アンケート結果（アンケート回収数34、回収率100%）より、「とても参考になった」「参考になった」をあわせると91%と満足度が高い結果となりました。
- ・評 価：定員40人のところ、実際の参加者は34人でしたが、申込時点では、定員を超える45人の申込がありました。参加者のうち保護者は22人（64.7%）、このうち18人が保護者を対象としたトリプルPグループワークに「参加を希望する」又は「参加を検討したい」と回答され、3) トリプルPグループワークの開催につながりました。

## 3) トリプルPグループワークの開催

- ・日 程：2024年10月30日、11月6日、13日、20日、27日、  
12月4日、11日の9:30~11:30  
(11月27日、12月4日は個別の電話相談)
- ・場 所：宗像地域医療センター4階「会議室」
- ・講 師：藤田 一郎先生（福岡女学院大学子ども発達学科教授）
- ・内 容：

第1回：前向きな子育て、子どもの行動のとらえ方を学び、目標を考えます。

第2回：子どもと良好な関係をつくり、発達を促すための10の方法を学びます。

第3回：対処が難しい子どもの行動をうまく扱うための7の方法を学びます。

第4回：子どもの問題行動が起こらないように備えるための活動を学びます。

第5回・6回：個別相談

第7回：子どもの行動の好ましい変化について話し合い、復習を行います。

- ・参加者：7人（定員6人）
- ・評価：グループワーク受講前、受講後にアンケート調査を行いました。受講者全員が、グループワーク受講により、子育ての振り返りができて、子どもへの関わり方が少し変化したことが推測できました。

#### 4) グループトリプルPファシリテーター養成講座

- ・日時：2024年11月2日(土)～4日(月、祝)、3日間、9:00～17:00
- ・場所：ZOOMシステムによるオンライン講座
- ・講師：香川葉月氏（トリプルP認定トレーナー）
- ・結果：宗像市の保育園の先生が1名受講し、認定試験に合格しました。

#### 〈振り返り〉

最終的に、宗像市・福津市の全ての幼稚園、保育園等にトリプルPファシリテーター（認定指導者）が1名以上在籍するという事業目標をたてています。

現在、グループトリプルPファシリテーターは22名、レベル2特定（セミナー）トリプルPファシリテーター1名、宗像市・福津市の全ての幼稚園、保育園等は72施設ですが、ファシリテーターが在籍しているのは12施設となりました。

目標達成まではまだまだ道半ばですが、今年度は、市民を対象としたシンポジウム、セミナーを開催することによって「トリプルP」の子育て技術を多くの方に知っていただくことが出来ました。さらに、参加した方の9割以上が「参考になった」と答えていただいたのは、大きな成果です。

#### 〈2025年度の計画〉

主として子育て中の市民を対象とした、子育て応援シンポジウム（会場：宗像地域医療センター3階「講堂」）を引き続き開催します。福岡女学院大学藤田一郎教授をはじめとする子育ての専門家が、それぞれの立場から「トリプルP」の子育て技術を紹介する予定です。

一般社団法人宗像医師会  
前向き子育てプログラム「トリプルP」による子育て支援事業



この事業は、競輪の補助を受けて実施しました。

# 子育て応援シンポジウム

令和6年5月26日 宗像地域医療センター3F「講堂」

【シンポジウム】 10:00～12:45

10:00～10:05 開会の挨拶

10:05～11:30 講演

①宗像市・福津市子育て支援への取り組み  
～子ども家庭センターの紹介～

②地域で受けられる子育てプログラムの内容と効果  
福岡国際医療福祉大学講師 木村 一絵 先生

③気になる子どもとのかかわり方について  
～子ども理解と保護者支援について～  
吉塚ゆりの樹幼稚園園長 高杉 美稚子先生

④幼児期の子育て支援～子育てプログラムの活用～  
福岡女学院大学教授 藤田 一郎 先生

⑤子育てを学んで  
保育士・保護者・講師 宮本 愛由末 先生

⑥子育て支援を受けるメリットってあるの？  
福岡県立大学教授 江上 千代美 先生

11:30～12:00 パネルディスカッション、質疑応答

12:15～12:45 子育て個別相談会

【見学会】 10:00～12:15

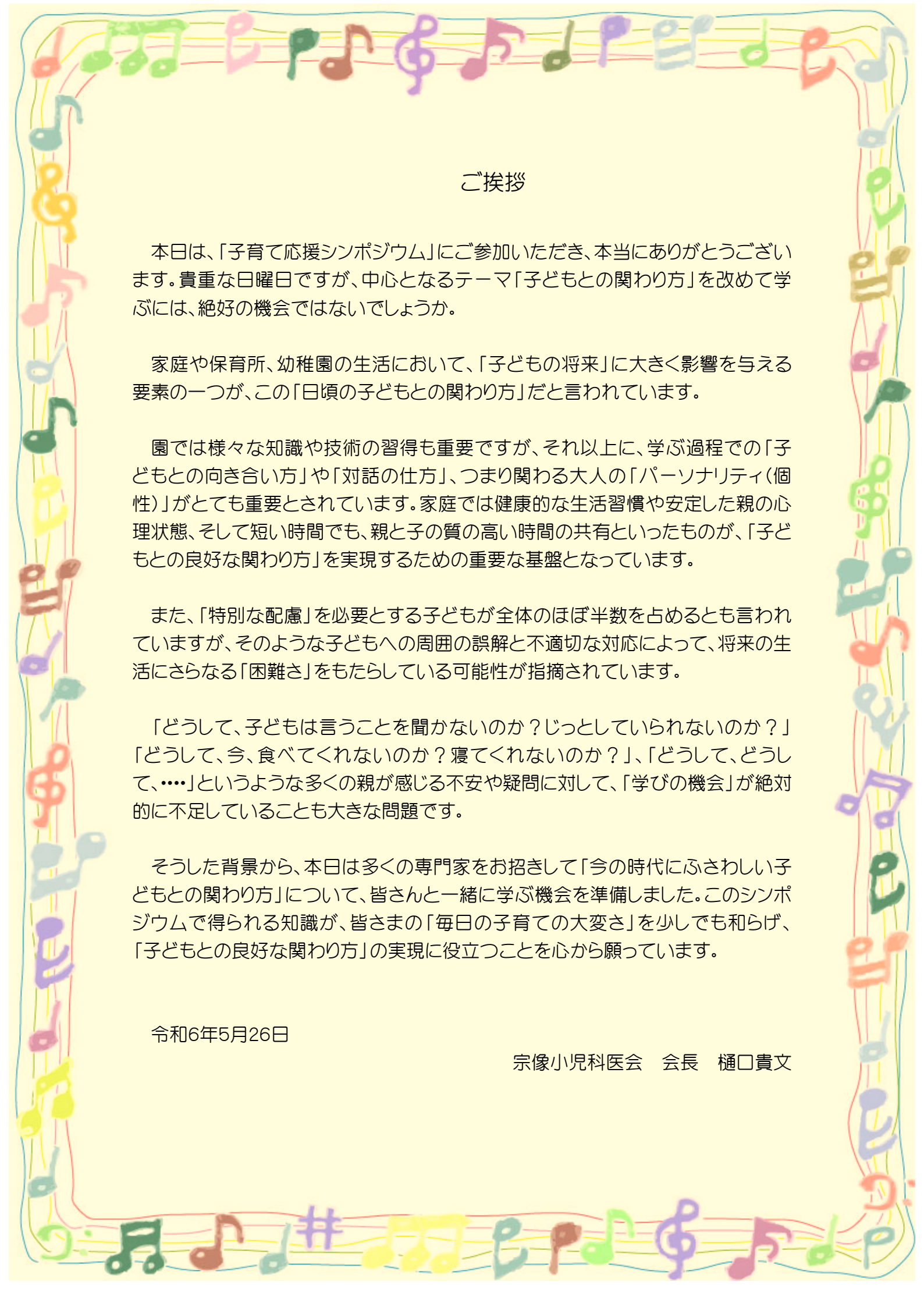
宗像医師会病後児デイケアルーム「すくすくくらぶ」

JKA Social Action  
競輪とオートレースの補助事業

00 KEIRIN.JP  
KEIRIN Official Website

このシンポジウムは競輪の補助を受けて実施しています





## ご挨拶

本日は、「子育て応援シンポジウム」にご参加いただき、本当にありがとうございます。貴重な日曜日ですが、中心となるテーマ「子どもとの関わり方」を改めて学ぶには、絶好の機会ではないでしょうか。

家庭や保育所、幼稚園の生活において、「子どもの将来」に大きく影響を与える要素の一つが、この「日頃の子どもとの関わり方」だと言われています。

園では様々な知識や技術の習得も重要ですが、それ以上に、学ぶ過程での「子どもとの向き合い方」や「対話の仕方」、つまり関わる大人の「パーソナリティ(個性)」がとても重要とされています。家庭では健康的な生活習慣や安定した親の心理状態、そして短い時間でも、親と子の質の高い時間の共有といったものが、「子どもとの良好な関わり方」を実現するための重要な基盤となっています。

また、「特別な配慮」を必要とする子どもが全体のほぼ半数を占めるとも言われていますが、そのような子どもへの周囲の誤解と不適切な対応によって、将来の生活にさらなる「困難さ」をもたらしている可能性が指摘されています。

「どうして、子どもは言うことを聞かないのか？じっとしてられないのか？」  
「どうして、今、食べてくれないのか？寝てくれないのか？」、「どうして、どうして、……」というような多くの親が感じる不安や疑問に対して、「学びの機会」が絶対的に不足していることも大きな問題です。

そうした背景から、本日は多くの専門家をお招きして「今の時代にふさわしい子どもとの関わり方」について、皆さんと一緒に学ぶ機会を準備しました。このシンポジウムで得られる知識が、皆さまの「毎日の子育ての大変さ」を少しでも和らげ、「子どもとの良好な関わり方」の実現に役立つことを心から願っています。

令和6年5月26日

宗像小児科医会 会長 樋口貴文

## ②「地域で受けられる子育てプログラムの内容と効果」

福岡国際医療福祉大学看護学部 講師 木村一絵

子育てをより楽しむために今日から簡単にできること教えます！！

なぜ、子育てにおいて「子どもと絆を深める」ことが大切なのでしょう。脳科学における褒めることの大事さに答えのヒントがあります。子どもと絆を深めるために「具体的に褒める」ことなど具体的な子育て方法を「スキル」としてお伝えいたします。

また、子どもの不適切な行動を減らすためにできる子育てのスキル、適切な指示とはどんなものかご紹介するとともに、子育てプログラムを受講すると養育スキルが改善し、子どもに実践すると子どもの行動が改善し・育児ストレスが軽減する効果があるといった研究結果をお示しします。

皆さんも学んでみませんか！？地域には多くの子育てプログラムがあります！！

### 【講師略歴】

大学卒業後、市役所の保健師として母子保健などの公衆衛生看護活動に従事した。その後、大学院を経て九州大学大学院医学研究院保健学部門看護学分野 助教、福岡国際医療福祉大学看護学部 講師として公衆衛生看護学を教授している。CARE-Japan 認定ファシリテーター・PCIT 機関内トレーナーとして子育て支援の研究を実践している。「かんしゃく！公共の場およびプライベートな場での癇癢の対処法」を出版している。

## ③「気になる子どもとのかかわり方について」～子ども理解と保護者支援について～

療育や子育てプログラムへ繋ぐまでの保護者への情報共有と

園児の発達側の側面からの理解を実際の幼稚園現場でのアプローチを通して

学校法人吉塚ゆりの樹幼稚園 園長 高杉美稚子

幼稚園の現場は、園児の教育だけではなく、保護者、職員の間人教育の場でもあります。

15歳で脳腫瘍の疑いで開頭手術を受けたことから脳科学や、27歳で園長就任後、過干渉、過保護等過ぎたるかかわりを受けた子どもがどのように育つか、発達心理学に興味を持ち「自他受容と決断ができる自己一致した大人を育てるために」をテーマに教育理念を構築し、46年間、新しい知見を取り入れながら、幼児教育、職員育成、保護者への教育啓蒙を推進している。その現場の取り組みについてお伝えします。

### 【講師略歴】

大学卒業後、5年目に園長就任、以後、現場で園長をしながら、修士、博士に学び、臨床発達心理士、学校心理士などを取得、子どもの成長と共に学生の質の向上の為に西南学院大学、中村大学、精華短期大学、九州女子短期大学、純真短期大学などで学生指導にもあたってきた。現在、現職、近畿大学、子ども専門学校非常勤講師兼任。

#### ④ 幼児期の子育て支援 ～子育てプログラムの活用～

福岡女学院大学人間関係学部子ども発達学科  
教授 藤田一郎

子育てに大切なのは、子どもの特徴や気持ちを理解し、その行動に敏感に反応することです。子どもへの具体的な関わり方を「前向き子育てプログラム(トリプル P)」を参考にしてみませんか。トリプル P では良好な親子関係づくりをもとに、良い手本を示しながら、子どもの好ましい行動に注目します。新しい行動を身につけていくためには、子どもと約束して観察し、できたら褒めます。しつけを行うために子どもを叱るのではなく、好ましい行動を褒めることによって子どもは自分で行動を身につけていきます。子どもが手助けを求めたときは、子どもが自分で答えを見つけるようにヒントを与えてアドバイスすると良いでしょう。最後に、宗像医師会、幼稚園・保育園との子育て支援事業を紹介します。

##### 【講師略歴】

九州大学医学部卒業後小児科医となる。佐賀大学医学部小児科で心身症・不登校の相談にトリプル P を活用し、佐賀市や大学で子育て講座を開催。トリプル P ジャパン理事。2015 年より福岡女学院大学の教員となり、保育士・教員養成課程を担当している。

#### ⑤ 「子育てを学んで」

保育士・保護者・講師 宮本愛由未

中学生の頃、子どもと関わった私は「将来子育てをしたい。けど、上手く育てられる自信が全然ない…。だから保育を学びたい。」と思い、保育士を目指しました。保育士となり、モンテッソーリ教育を学んで実践すると、その効果の大きさを実感し、「その他にどんな教育法や育児プログラムがあるのだろう」と興味を持つようになりました。そして現在は CARE プログラムとトリプル P、アンガーマネジメントの講師になり、育児を学びたい保護者さまなどにお伝えしています。本日は、私がこのように子育てを学んできたことで起きた良い変化についてお話しします。

##### 【講師略歴】

保育士としてモンテッソーリ教育を学んで実践。地方自治体開催の CARE プログラムで補助講師、個別 CARE プログラムの講師、大学開催のトリプル P の補助講師を経験し、現在は子育てをしながら大学の育児支援の研究助手、子育て支援講座の講師、保育士として活動中。



## ⑥「子育て支援を受けるメリットってあるの？」

福岡県立大学 看護学部 教授 江上 千代美

子育ては次世代の育成であり、次世代育成や次世代育成支援は最も重要な仕事の一つです。これまで、子育て中の保護者を対象に子育て支援を行ってきました。人間を育てることは時に楽しく、時にストレスとなるものです。少しでも、子育てをやりがいのある、そして子育て中の保護者が幸せと感じられるような保護者支援を行っております。

考えてみると、出産して母乳育児や沐浴、産後体操などについて学んでこられている保護者が多いものの、子育てについて学ぶ機会が得られている保護者は少ないように感じます。このような環境下では保護者は時に多くの困難(ストレス)を感じます。

この会では子育ての視点から子どもの行動をどのように理解し、子どもとどのようにかわるとよいかという視点からお話をさせていただきます。

### 【講師略歴】

看護師を取得し、大学病院に勤務。その後、心理学を学び、現在は大学の教員である。保護者のレジリエンスを向上することを目指し、研究および地域活動を行っている。

